

JQA計測セミナーのご案内



JQA計測セミナー コース一覧

テーマ	レベル	セミナー名	ページ	
測定 ・ 校正	初級	計測の基礎	4	
		測定技術の基礎（現場長さ測定器編）	4	
		測定技術の基礎（はかり編）	5	
		測定技術の基礎（電気計測器編）	5	
		測定技術の基礎（圧力計編）	6	
		測定技術の基礎（温度・湿度計編）	6	
		測定技術の基礎（力・トルク計測器編）	7	
	中級	実習で学ぶ校正と不確かさ評価（現場長さ測定器編）	7	
		実習で学ぶ校正と不確かさ評価（はかり編）	8	
		実習で学ぶ校正と不確かさ評価（電気計測器編）	8	
実習で学ぶ校正と不確かさ評価（温度計編）		9		
不確かさ ・ 統計	初級	統計手法入門	9	
		はじめての不確かさ評価	10	
		測定の信頼性確保のために－ゲージ R&R入門－	10	
	中級	実習で学ぶ校正と不確かさ評価（現場長さ測定器編）	7	
		実習で学ぶ校正と不確かさ評価（はかり編）	8	
		実習で学ぶ校正と不確かさ評価（電気計測器編）	8	
		実習で学ぶ校正と不確かさ評価（温度計編）	9	
		事例で学ぶ！不確かさ評価	11	
		体感で学ぶ！測定の不確かさと製品品質の関係	11	
	上級	不確かさを合否判定に活用するための統計セミナー	12	
		不確かさ評価（応用編）	12	
	ISO/IEC 17025 規格関連	初級	ISO/IEC 17025:2017 規格解釈	13
		中級	ISO/IEC 17025:2017 内部監査員養成コース	13
上級		ISO/IEC 17025:2017 内部監査員スキルアップ	14	
計測管理	初級	はじめて学ぶ！計量法	14	
		はじめての計測器管理	15	
		ISO 10012 計測マネジメントシステムの解説	15	
	中級	計測管理の考え方と進め方	16	
		体感で学ぶ！測定の不確かさと製品品質の関係	11	
	上級	計測精度を確実に向上させる！パラメータ設計の実践セミナー	16	
計測管理プロセスの改善		17		

ラインナップ【2026年度】

	技術関連		品質マネジメント関連	
	測定・校正	不確かさ・統計	ISO/IEC 17025 規格関連	計測管理
上級		<ul style="list-style-type: none"> ● 不確かさ評価（応用編） ¥ 41,800 ● 不確かさを合否判定に活用するための統計セミナー ¥ 29,700 	<ul style="list-style-type: none"> ● ISO/IEC 17025:2017 内部監査員 スキルアップ ¥ 46,200 	<ul style="list-style-type: none"> ● 計測管理プロセスの改善 ¥ 47,300 ● 計測精度を確実に向上させる！パラメータ設計の実践セミナー ¥ 29,700
中級	<ul style="list-style-type: none"> ● 実習で学ぶ校正と不確かさ評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場長さ測定器 ・ はかり ・ 電気計測器 ・ 温度計 NEW ¥ 44,000	<ul style="list-style-type: none"> ● 体感で学ぶ！測定の不確かさと製品品質の関係 ¥ 47,300 ● 事例で学ぶ！不確かさ評価 ¥ 29,700 	<ul style="list-style-type: none"> ● ISO/IEC 17025:2017 内部監査員養成コース（2日間） ¥ 88,000 	<ul style="list-style-type: none"> ● 体感で学ぶ！測定の不確かさと製品品質の関係 ¥ 47,300 ● 計測管理の考え方と進め方 ¥ 29,700
	初級	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定技術の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場長さ測定器 ・ はかり ・ 電気計測器 ・ 圧力計 ・ 温度・湿度計 ・ 力・トルク計測器 ¥ 31,900 NEW <ul style="list-style-type: none"> ● 計測の基礎 ¥ 29,700 	<ul style="list-style-type: none"> ● はじめての不確かさ評価 ¥ 41,800 ※eラーニング ¥ 19,800 ● 統計手法入門 ¥ 29,700 ● 測定の信頼性確保のために -ゲージR&R入門- ¥ 29,700 	<ul style="list-style-type: none"> ● ISO/IEC 17025:2017 規格解釈 ¥ 46,200 NEW

新しく開講するセミナーもぜひご活用ください

NEW

実習で学ぶ校正と不確かさ評価（温度計）



対象者

これから温度計を使用される方

📖 詳しくはP.9

NEW

測定の信頼性確保のために -ゲージ R&R入門-



対象者

新たに計測分野の業務に従事する方

📖 詳しくはP.10

NEW

はじめての計測器管理



対象者

計測器管理業務に従事される方

📖 詳しくはP.15

お申し込みから受講までの流れ

1	お申し込み	<ul style="list-style-type: none"> ● 各セミナーのお申し込み画面からお申し込みください。 ● 締切は原則として、開催日の7営業日前になります。 ● 定員に達し次第、受付終了となります。 ● 規定人数に満たない場合には、セミナーが開催されない場合がございます。
2	お申し込み完了メールの受信	<ul style="list-style-type: none"> ● お申し込み完了後、連絡担当者さまのメールアドレス宛に【お申し込み完了】メールが自動送信されます。お申し込み内容に間違いがないかご確認ください。
3	受講についてのご案内メールの受信	<ul style="list-style-type: none"> ● 開催日の約3週間前に【受講および請求についてのご案内】メールにて、「受講票」および「請求書」が参加者さま、連絡担当者さま双方に送信されます。
4	参加費のお支払い	<ul style="list-style-type: none"> ● 「請求書」に記載の指定口座へ、開催日の6営業日前までにご入金ください。 ● 社内手続き上、振込期限までにご入金ができない場合は、入金予定日をご連絡ください。

【会場の場合】

5	セミナー当日	<ul style="list-style-type: none"> ● 会場へご来場の際は「受講票」をお持ちください。（メール画面のご提示も可） ● セミナーテキストは当機構で準備いたしますが、電卓等のご用意をお願いすることもございますので、受講票の連絡事項欄を必ずご確認ください。 				
	<p>✓修了証の発行について</p> <p>セミナー終了後、アンケートにご回答いただいた方に発行いたします。</p> <p>✓キャンセルについて</p> <p>開催日を基準に下記のキャンセル料（税込）を申し受けます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>会場</th> <th>WEB</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5営業日前～当日</td> <td>全額</td> <td>全額</td> </tr> </tbody> </table>		会場	WEB	5営業日前～当日	全額
	会場	WEB				
5営業日前～当日	全額	全額				

【WEBの場合】

5	テキストの受け取り	<ul style="list-style-type: none"> ● セミナー開催日の約5営業日前に当機構から参加者さま宛にテキストが発送されます。
6	視聴URLの受信	<ul style="list-style-type: none"> ● セミナー開催日の前日までに参加者さまのメールアドレス宛に当日の視聴URLとパスワードが送信されます。
7	セミナー当日	<ul style="list-style-type: none"> ● 視聴URLにアクセスし、パスワードを入力の上、WEBセミナーへご参加ください。

キーワードを検索 または 二次元コードからお申し込みください

JQA計測セミナー 申し込み

検索



【JQA計測セミナーのページ】



“JQA計測セミナー一覧・お申し込みのページはここをクリック！”をクリック

計測の基礎

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級						
概要	<p>長さ、質量、温度などの幅広い分野の計量の知見を持ち、JCSS制度の立ち上げにも携わった 中本 文男氏が、計量計測の基礎について解説します。「用語」「単位」「測定結果のまとめ方」をはじめとして、「測定のトレーサビリティ」「計測器の校正を行う意味」、さらに「長さ計、温度計、質量計などの各種計測器の取り扱いや校正例」について説明します。これから計測に関わる技術職の方はもちろん、計測器を扱う技術部署や校正機関との連携を円滑にしたい事務職の方にもおすすめの内容です。</p>														
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 新たに計測分野の業務に従事する方 計測分野での業務経験が浅い方 計測分野を支援する部署の方 			プログラム 13:00~17:00 <ol style="list-style-type: none"> 計量の歴史・計量単位 (SI単位、単位記号) 計量計測の基礎・用語 測定結果のまとめ方 (測定値の扱い方、有効数字、数値の丸め方、測定値の表し方等) 計測器の校正について (校正する意味・目的、校正に必要な情報・資源、測定器の精度管理と校正方式例) 各種測定器の取り扱い・校正例 (長さ計、温度計、質量計、圧力計、力計測器、トルク計、デジタルマルチメータ) 校正証明書の見方・活用 											
講師	<p>Na計測合同会社 代表 中本 文男 氏 1973年 通商産業省 工業技術院 計量研究所入所。 1993年 計量法改正に伴いJCSS制度立ち上げ業務に携わる。 1995年 財団法人日本品質保証機構入構。 元一般財団法人日本品質保証機構 理事。 2016年 Na計測合同会社を設立。</p>														
参加費	29,700円 (税込)														
日程	<table border="0"> <tr> <td>5月20日 (水) WEB</td> <td>9月 2日 (水) WEB</td> </tr> <tr> <td>6月17日 (水) WEB</td> <td>10月 7日 (水) WEB</td> </tr> <tr> <td>7月 8日 (水) WEB、神田</td> <td>11月 5日 (木) WEB、神田</td> </tr> </table>									5月20日 (水) WEB	9月 2日 (水) WEB	6月17日 (水) WEB	10月 7日 (水) WEB	7月 8日 (水) WEB、神田	11月 5日 (木) WEB、神田
5月20日 (水) WEB	9月 2日 (水) WEB														
6月17日 (水) WEB	10月 7日 (水) WEB														
7月 8日 (水) WEB、神田	11月 5日 (木) WEB、神田														

測定技術の基礎 (現場長さ測定器編)

WEB受講の方には
実習機材貸出あり!

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級						
概要	<p>ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージといった現場長さ測定器について、測定原理や寸法の読み方などの基本的な知識に加え、小孔測定誤差やアッペ誤差など、現場長さ測定器特有の注意点とその対策について解説します。実習ではノギスによるフランジの寸法測定、マイクロメータによるブロックゲージの測定、測定値に影響する平面度と平行度の確認などを行います。さらに、校正証明書の見方や不確かさの定義など、校正に関する知識についても説明します。校正を依頼する方にも役立つ内容となっています。</p>														
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから現場長さ測定器 (ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ) を使用される方 現場長さ測定器を使用しての業務経験が浅い方 			プログラム 13:00~16:30 <ol style="list-style-type: none"> 計測の目的 長さ測定器の基本的な構造および原理 長さ測定器の使用・取り扱い時の注意事項 実習 <ul style="list-style-type: none"> ノギスを用いたフランジの寸法測定 マイクロメータによるブロックゲージの測定 マイクロメータの平面度、平行度の確認 校正とは 											
講師	JQA校正技術者														
参加費	31,900円 (税込)														
日程	<table border="0"> <tr> <td>5月27日 (水) WEB、八王子</td> <td>10月 6日 (火) 名古屋</td> </tr> <tr> <td>6月23日 (火) 大阪</td> <td>12月 2日 (水) WEB</td> </tr> <tr> <td>8月 5日 (水) WEB</td> <td>2月16日 (火) WEB</td> </tr> </table>									5月27日 (水) WEB、八王子	10月 6日 (火) 名古屋	6月23日 (火) 大阪	12月 2日 (水) WEB	8月 5日 (水) WEB	2月16日 (火) WEB
5月27日 (水) WEB、八王子	10月 6日 (火) 名古屋														
6月23日 (火) 大阪	12月 2日 (水) WEB														
8月 5日 (水) WEB	2月16日 (火) WEB														

測定技術の基礎（はかり編）

WEB受講の方は
実習は視聴のみ

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>電子式はかりの測定原理や分銅の種類など、はかりの基本的な事項を説明します。 また、測定物を置く位置によって生じる偏置誤差や、温度、湿度、静電気、磁性が測定値に与える影響と、その対策についても解説します。実習では測定物を温めたり、はかりの調整脚ではかりを傾けたりすることで温度や水平度が測定値に与える影響を認識し、電子式はかりの正確な測定操作を再確認していただけます。さらに、校正証明書の見方や不確かさの定義といった校正に関する知識など、校正を依頼する方にも役立つ内容となっています。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これからはかりを使用される方 はかりを使用しての業務経験が浅い方 			プログラム 13:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 計測の目的 はかりの基本的な構成および原理 はかりを取り扱う際の注意事項 およびはかり使用時の注意事項（測定体験） <ul style="list-style-type: none"> 振動、温度、静電気等の影響 好ましい手順による測定 校正証明書の利用方法 校正における評価項目 					
講師	JQA校正技術者								
参加費	31,900円（税込）								
日程	6月16日（火） WEB、八王子 10月28日（水） WEB 1月20日（水） WEB								

測定技術の基礎（電気計測器編）

WEB受講の方には
実習機材貸出あり！

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>オームの法則やキルヒホッフの法則など、電気の基本知識について説明します。また、測定量の検出から表示までの測定原理、熱起電力や絶縁抵抗といった測定に影響する要因と電気計測器の使用上の注意点 についても解説します。 実習ではデジタルマルチメータの校正を体験していただけます。さらに、校正証明書の見方や不確かさの定義といった校正に関する知識など、校正を依頼する方にも役立つ内容となっています。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから電気計測器（デジタルマルチメータ、絶縁抵抗計等）を使用される方 電気計測器を使用しての業務経験が浅い方 			プログラム 13:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 計測の目的 電気計測器の基本的な構成および原理 「電気量」を取り扱う際の注意事項 計測器使用時の注意事項 校正証明書の利用方法 校正事例（測定体験 デジタルマルチメータの校正） <p>※計算演習がございます。 関数電卓をご持参ください（スマホ可）。</p>					
講師	JQA校正技術者								
参加費	31,900円（税込）								
日程	6月 4日（木） 八王子 6月24日（水） 大阪 7月15日（水） WEB 10月 2日（金） WEB 12月 3日（木） 名古屋 2月17日（水） WEB								

測定技術の基礎（圧力計編）

WEB受講の方は
実習は視聴のみ

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>圧力の定義や単位をはじめ、差圧、ゲージ圧力、絶対圧力などの圧力の種類、圧力のトレーサビリティといった、圧力の基礎事項について説明します。また、重錘形圧力天びんや液柱形圧力計、デジタル圧力計、圧力センサ、機械式圧力計など、主要な圧力計の測定原理や取り扱い時の注意事項についても解説します。実習では、圧力継手を実際に接続し、誤った配管方法による圧力媒体の漏れを体験することで、継手を正しく使用することの重要性を理解していただけます。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから圧力計を使用される方 圧力計を使用しての業務経験が浅い方 				プログラム 13:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 計測の目的 圧力の定義、単位、種類 各種圧力計の概要、使用上の注意、校正方法、校正証明書 <ul style="list-style-type: none"> 重錘形圧力天びん 液柱形圧力計 デジタル圧力計 圧力センサ 機械式圧力計 配管・継手について 実習 <ul style="list-style-type: none"> 継手のネジ止め部の漏れについて 				
講師	JQA校正技術者								
参加費	31,900円（税込）								
日程	6月 2日（火） WEB、八王子 1月15日（金） WEB								

測定技術の基礎（温度・湿度計編）

WEB受講の方は
実演の視聴のみ

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>温度計については接触式(膨張式、電気式)、非接触式と呼ばれる各種温度計の測定原理や特徴、使用上の注意点について解説します。なかでも熱電対の結線については実務に直接活用できる内容です。湿度計については相対湿度、露点、霜点といった基礎事項に加え、電子式湿度計や伸縮式、バイメタル式、露点計などの湿度測定の見方、通風乾湿計の特徴、使用上の注意点についても解説します。また、温度計(熱電対と白金抵抗温度計)を実際に校正技術者が測定する実演映像を見て、手順や測定のポイントをご確認いただけます。さらに、校正証明書の見方や不確かさの定義といった校正に関する知識など、校正を依頼する方にも役立つ内容となっています。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから温度計や湿度計を使用される方 温度計や湿度計を使用しての業務経験が浅い方 				プログラム 13:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 計測の目的 校正証明書の利用方法 温度計の構造と使用・取り扱いにおける注意事項 湿度計の構造と使用・取り扱いにおける注意事項 温度計を用いた測定体験 <ul style="list-style-type: none"> 熱電対の測定 白金抵抗温度計の測定 				
講師	JQA校正技術者								
参加費	31,900円（税込）								
日程	6月12日（金） WEB 9月17日（木） WEB 2月10日（水） WEB								

測定技術の基礎（力・トルク計測器編）

WEB受講の方は
実習は視聴のみ

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>力の定義、単位などの基礎事項に加え、力計測器の構造やトルクツールのタイプ・クラスの種類、それぞれの特徴と使用上の注意事項について解説します。適切な計測器の選定方法や測定方法、計測器の精度を担保するための校正周期についても説明し、機器の操作から計測器管理まで理解を深められる構成です。実習では、トルクレンチやプッシュプルゲージでの測定を体験していただけます。さらに、校正証明書の見方や不確かさの定義といった校正に関する知識など、校正を依頼する方にも役立つ内容となっています。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> これから力計測器やトルク計測器を使用される方 力計測器やトルク計測器を使用しての業務経験が浅い方 				プログラム 13:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 計測の目的 力・トルク計測器の基本的な構成および原理 力・トルク計測器を取り扱う際の注意事項および使用時の注意事項 校正証明書の利用方法 校正方法 <ul style="list-style-type: none"> 力・トルク計測器を用いた測定体験 				
講師	JQA校正技術者								
参加費	31,900円（税込）								
日程	7月24日（金） WEB、八王子								

実習で学ぶ校正と不確かさ評価（現場長さ測定器編）

WEB受講の方には
実習機材貸出あり！

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>熱膨張など、現場長さ測定器の測定値に影響する要因や使用上の注意点、不確かさ評価について解説します。「測定技術の基礎」シリーズからさらに、不確かさ評価に重点を置いた内容です。測定対象の分解能などの不確かさの要因特定から、各要因の標準不確かさの大きさの推定、拡張不確かさの算出までの流れについて分かりやすく解説します。実習では、基準ブロックゲージを用いたマイクロメータの校正を行い、実際の測定値をもとにバジェットシートによる不確かさ評価を実践します。現場長さ測定器の適切な測定操作と不確かさ評価方法について、まとめた習得が可能です。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 現場長さ測定器（ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ）の校正方法を身につけたい方 現場長さ測定器の不確かさ評価方法を身につけたい方 <p>※「はじめての不確かさ評価」に相当する知識を有しての方を対象としています。</p>				プログラム 10:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 校正とは 長さのトレーサビリティ 精密測定における基礎的事項 現場用測定工具の取り扱いにおける注意事項 <ul style="list-style-type: none"> マイクロメータの平面度、平行度の測定実習 不確かさの評価 <ul style="list-style-type: none"> マイクロメータによるブロックゲージの測定実習 講師によるバジェットシート作成 <p>※計算演習がございます。 関数電卓をご持参ください（スマホ可）。</p>				
講師	JQA校正技術者								
参加費	44,000円（税込） ※会場セミナーは昼食付き								
日程	7月10日（金） WEB			1月22日（金） 神田					
	9月 4日（金） 八王子								
	10月20日（火） 大阪								

実習で学ぶ校正と不確かさ評価（はかり編）

WEB受講の方には
実習機材貸出あり!

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>温度や偏置など、はかりの測定値に影響する要因や使用上の注意点、不確かさ評価について解説します。「測定技術の基礎」シリーズからさらに、不確かさ評価に重点を置いた内容です。測定対象の分解能などの不確かさの要因特定から各要因の標準不確かさの大きさの推定、拡張不確かさの算出までの流れについて分かりやすく解説します。実習では、繰り返し測定や偏置測定を行い、測定値への影響と正確な測定操作を再確認します。さらに、実際の測定値をもとにバジェットシートを用いた不確かさ評価を実践します。はかりの適切な測定操作と不確かさ評価方法について、まとめた習得が可能です。</p>								
対象者	<p>・はかりの校正方法を身につけたい方 ・はかりの不確かさ評価方法を身につけたい方 ※「はじめての不確かさ評価」に相当する知識を有している方を対象としています。</p>				<p>プログラム 10:00~16:30</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 質量の標準とトレーサビリティ 2. 分銅について 3. はかりの種類とその原理・特徴・精度 4. 不確かさについて 5. はかりの校正方法と不確かさの評価 6. 不確かさの要因 7. 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・分銅を用いたはかりの校正 8. はかりの取り扱いと保守管理 9. はかりの使用における注意点 <p>※計算演習がございます。 関数電卓をご持参ください（スマホ可）。</p>				
講師	JQA校正技術者								
参加費	44,000円（税込） ※会場セミナーは昼食付き								
日程	<p>6月10日（水） 八王子 9月 8日（火） 大阪 3月 2日（火） 八王子</p>								

実習で学ぶ校正と不確かさ評価（電気計測器編）

WEB受講の方には
実習機材貸出あり!

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>絶縁抵抗など、電気計測器の測定値に影響する要因や使用上の注意点、不確かさ評価について解説します。「測定技術の基礎」シリーズからさらに、不確かさ評価に重点を置いた内容です。測定対象の分解能などの不確かさの要因特定から各要因の標準不確かさの大きさの推定、拡張不確かさの算出までの流れについて分かりやすく解説します。実習では、マルチメータの校正や電池の電圧測定を行い、実際の測定値をもとにバジェットシートを用いた不確かさ評価を実践します。電気計測器の適切な測定操作と不確かさ評価方法について、まとめた習得が可能です。</p>								
対象者	<p>・電気計測器の校正方法を身につけたい方 ・電気計測器の不確かさ評価方法を身につけたい方 ※「はじめての不確かさ評価」に相当する知識を有している方を対象としています。</p>				<p>プログラム 10:00~16:30</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電気量の標準とトレーサビリティ 2. 電気量取り扱いの注意事項 (熱起電力/接触抵抗/絶縁抵抗/磁気結合/入力抵抗の影響・ケーブルの影響) 3. 不確かさの評価 <ul style="list-style-type: none"> ・不確かさの算出手順 ・適合性の判定 ・マルチメータ校正の不確かさ評価 ・実習 マルチメータの校正 ・実習 電池の電圧測定 <p>※計算演習がございます。 関数電卓をご持参ください（スマホ可）。</p>				
講師	JQA校正技術者								
参加費	44,000円（税込） ※会場セミナーは昼食付き								
日程	<p>5月29日（金） 神田 11月 6日（金） 神田 11月18日（水） 大阪 1月14日（木） WEB</p>								

実習で学ぶ校正と不確かさ評価（温度計編）

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>センサの挿入深さや持ち手の温度など、温度計の測定値に影響する要因や使用上の注意点、不確かさ評価について解説します。「測定技術の基礎」シリーズからさらに、不確かさ評価に重点を置いた内容です。測定対象の分解能などの不確かさの要因特定から各要因の標準不確かさの大きさの推定、拡張不確かさの算出までの流れについて分かりやすく解説します。実習では、温度計の校正手法を模擬体験し、事例の測定値をもとにバジェットシートを用いた不確かさ評価を実践します。温度計の校正方法と不確かさ評価方法について、まとめたの習得が可能です。</p>								
対象者	<p>・実務で温度計を扱われている方 ・温度計の校正方法、不確かさ評価方法等、さらに技術向上を目指す方 ※「はじめての不確かさ評価」に相当する知識を有してる方を対象としています。</p>				プログラム 10:00～16:30				
講師	JQA校正技術者				<p>1. 温度の標準とトレーサビリティ 2. 温度計の校正 3. 温度計取り扱いの注意点 4. 不確かさの評価 5. 不確かさの模擬評価</p> <p>※計算演習がございます。 関数電卓をご持参ください（スマホ可）。</p>				
参加費	44,000円（税込） ※会場セミナーは昼食付き								
日程	11月25日（水） 八王子								

統計手法入門

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>計測データの整理や不確かさの算出には、統計的手法が必要不可欠です。本セミナーでは、取得データの代表値やばらつきの特徴を把握するための記述統計学、母集団を確率的に推定する推定統計学などの解説や、解析対象となるデータの分類についても説明します。さらに、ヒストグラム、散布図といったデータの表し方や、検定や推定、分散分析、直交表実験といったデータの分析方法について事例を交えて解説します。統計の基礎から実際にデータをまとめるための統計手法まで、体系的に学んでいただけの内容です。</p>								
対象者	<p>・新たに計測分野の業務に従事する方 ・計測分野での業務経験が浅い方でこれから統計手法を学び利用したい方</p>				プログラム 13:00～17:00				
講師	<p>Na計測合同会社 代表 中本 文男 氏 1973年 通商産業省 工業技術院 計量研究所入所。 1993年 計量法改正に伴いJCSS制度立上げ業務に携わる。 1995年 財団法人日本品質保証機構入構。 元一般財団法人日本品質保証機構 理事。 2016年 Na計測合同会社を設立。</p>				<p>1. 統計学とは 2. 統計学の体系（記述統計学と推計統計学） 3. 統計で扱うデータについて 4. データの統計的まとめ方 5. 統計手法の事例 ① 確率分布の種類 ② 検定・推定 ③ 分散分析とは ④ 直交表実験とは</p>				
参加費	29,700円（税込）								
日程	7月21日（火） WEB 11月26日（木） WEB								

はじめての不確かさ評価

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>「不確かさ」とは測定値のばらつきを程度を表す指標です。測定結果の信頼性を評価する上で欠かせないことから、さまざまな計測分野において重要視されています。本セミナーでは、平均値やばらつきなどの不確かさにかかわる基本的な統計知識から、不確かさの要因や計算方法といった評価方法まで、順を追って解説します。初心者の方でも不確かさの評価ができるようになることを目的とした内容であり、不確かさの基礎を習得するための最初のステップとしておすすめします。eラーニング形式でもご受講いただけます（詳細はP.21）。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 計測器（計量器）を使用されている方 基礎から不確かさを学びたい方 				プログラム 10:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 測定の不確かさとは タイプA評価の不確かさ（平均値とばらつき） 誤差や不確かさの要因について タイプB評価の不確かさ（一般的な不確かさ） 不確かさの計算方法 標準不確かさと不確かさの合成 結果の表し方 事例紹介（演習問題） 				
講師	JQA校正技術者				※計算演習がございます。 関数電卓をご持参ください（スマホ可）。				
参加費	41,800円（税込） ※会場セミナーは昼食付き								
日程	5月21日（木） WEB		7月 9日（木） WEB、神田		9月 3日（木） WEB		11月17日（火） 大阪 1月27日（水） 名古屋		

測定の信頼性確保のために - ゲージR&R入門 -

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>近年、自動車産業向けの国際規格IATF 16949の要求事項により、ゲージR&R（GRR）が広く知られるようになりました。阿知波計量士事務所 所長の阿知波 正之氏が、GRR について1990年代から取り組んできた経験をもとに、現場・現物・現実の測定の精密さ（ばらつき）を評価し、測定システムを改善することにより、対象製品の品質向上にどのように寄与するかを解説します。GRRについての考え方、GRRを求めるための手法、測定対象製品の品質規格とGRRの評価基準、測定システム改善の着眼点やGRR改善による効果などについて説明します。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 新たに計測分野の業務に従事する方 				プログラム 13:00～17:00（予定） <ol style="list-style-type: none"> 自動車関係の規格（IATF 16949）と参照マニュアルMSA（測定システム分析）の概要 測定システムの能力（精確さ）評価の考え方 測定の精確さ、精密さ（ばらつき）、GRR GRRの求め方 簡便法、平均値範囲法、分散分析法、特殊な測定例 GRR結果の評価と測定システムの改善 %GRRの評価、改善の着眼点 まとめ 				
講師	阿知波計量士事務所 所長 阿知波 正之 氏 1963年 株式会社デンソー入社。計測管理を担当。田口玄一博士、矢野宏博士に師事し、2001年に品質工学を習得。 2002年 計量士事務所設立。 日本規格協会専任講師（品質工学、ISO/IEC 17025）。 職業能力開発促進センター講師（品質工学）。 2016年 一般社団法人 日本計量振興協会副会長（2020年退任）								
参加費	29,700円（税込）								
日程	12月9日（水） WEB								

事例で学ぶ！不確かさ評価

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>不確かさ評価に必要な「誤差」や「ばらつき」といった統計の基礎を解説します。さらに、「長さ」「温度」「質量」「力」「圧力」「トルク」など、分野ごとに代表的な計測器をそれぞれ取り上げ、不確かさの算出に必要な要因の特定や、不確かさ評価方法を解説します。計測器によって考慮すべき要因は異なりますが、本セミナーでは幅広い分野の不確かさ評価手法の習得が可能です。今後、不確かさの評価を行う機会がある方や、「はじめての不確かさ評価」セミナーを受講された方の次のステップとしてもおすすめです。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 計測器（計量器）を使用されている方 不確かさ評価について具体的事例を学び利用したい方 不確かさ評価における要因の特定方法にお悩みの方 				プログラム 13:00～17:00				
講師	<p>Na計測合同会社 代表 中本文男氏 1973年 通商産業省 工業技術院 計量研究所入所。 1993年 計量法改正に伴いJCSS制度立上げ業務に携わる。 1995年 財団法人日本品質保証機構入構。 元一般財団法人日本品質保証機構 理事。 2016年 Na計測合同会社を設立。</p>				<ol style="list-style-type: none"> 測定・校正・不確かさの概要 不確かさの事例 <ol style="list-style-type: none"> 【長さ】マイクロメータ 【温度】デジタル温度計 【質量】非自動はかり 【力】材料試験機 【圧力】デジタル圧力計 【トルク】トルクツール 				
参加費	29,700円（税込）								
日程	<p>9月25日（金）WEB 12月18日（金）WEB</p>								

体感で学ぶ！測定の不確かさと製品品質の関係

WEB受講の方には
実習機材貸出あり！

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>測定は品質に大きく寄与します。本セミナーでは、中央精機株式会社 品質保証部で長年、製品の測定・試験業務に携わってこられた高井 哲哉氏が、測定の信頼性を示す「測定の不確かさ」の概要と製品の品質との関係について分かりやすく解説します。実習では、アナログ式のノギスとマイクロメータを用いてブロック状の製品を測定し、最適な計測器の選定や製品規格の決定、規格の変更が品質に与える影響を体感していただけます。製品規格や検査規格の検討、損失金額の算出方法についても取り上げ、品質向上を目指した新たな計測器の導入や検査プロセスの検討に役立つ内容です。その他、ゲージR&Rの簡易法も紹介します。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 計測管理に携わる方 品質管理部門、生産技術部門、製品設計部門の方 				プログラム 10:00～17:00				
講師	<p>中央精機株式会社 品質保証部 計測管理室 室長 高井 哲哉氏（一般計量士） 1993年 中央精機入社。品質保証部にて製品の測定・試験を担当。 1998年～ オールトヨタ計測管理連絡会へ主カメンバーとして参画。 2008年 自社製品の測定器で特許を取得。 2010年～ 日本計量振興協会 ISO 10012の調査研究委員会委員 2013年4月 測定の不確かさ簡易法マニュアル発表。 2019年5月 愛知県知事表彰受賞。</p>				<ol style="list-style-type: none"> 測定精度と品質の関係を体感（ノギス・マイクロメータによる実習） 測定の不確かさの求め方（ゲージR&R簡易法含む） 測定精度の金額換算方法 製品規格の決め方 計測器の選定方法 検査規格の決め方 				
参加費	47,300円（税込）※会場セミナーは昼食付き				<p>【本セミナー限定】1社2名同時受講で83,600円（税込） ※同時受講とは、実習機材を共有して受講していただく形態です。 ※1社2名同時受講をご希望の場合は、受講いただく方それぞれでお申し込みの上、申し込みフォームのコメント欄に【1社2名同時受講希望】とご記入ください。</p>				
日程	11月19日（木）WEB、神田								

不確かさを合否判定に活用するための統計セミナー

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	計測では「不確かさ」が用いられますが、日々の測定や試験においても「不確かさ」を活用することは非常に重要です。本セミナーでは、不確かさの第一人者である、国立研究開発法人産業技術総合研究所の田中 秀幸氏が、統計と測定の関連性を踏まえた統計の基本事項や、合否判定のリスクを考慮した許容差と不確かさの関係について、国際的な最新動向とともに解説します。								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務において不確かさにかかわりのある方 ・製品試験の評価を実施する方や製造ライン管理者等 ・校正機関や試験所における技術者または技術管理者 ※高校数学程度の微分積分について知識がある方を対象としています。 				プログラム	13:00~17:00			
講師	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 田中 秀幸氏				<ol style="list-style-type: none"> 1. 統計の基礎的事項について <ul style="list-style-type: none"> ・統計から見た測定とは？ ・離散分布の期待値について ・連続分布への拡張 ・ばらつきを表すパラメータ ・母分散と標本分散 ・正規分布について ・例題 2. 許容差と不確かさの関係 				
参加費	29,700円（税込）								
日程	1月29日（金） WEB、神田								

不確かさ評価（応用編）

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	「不確かさ」とは測定値のばらつきの程度を表す指標です。測定結果の信頼性を評価する上で欠かせないことから、さまざまな計測分野において重要視されています。本セミナーでは、国立研究開発法人産業技術総合研究所の田中 秀幸氏が、不確かさのガイド文書GUMに記載された不確かさの評価方法と、その応用について解説します。また、近年の国際的な不確かさの評価方法の動向や、最適な評価方法を選ぶための考え方についても説明します。校正機関や試験所で不確かさの評価を行う技術者など、不確かさと各評価方法との関連性を理解し、適切な評価方法を選択できるようになることを目指す方におすすめてです。								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務において不確かさにかかわりがあり、ある程度不確かさに関する知識を有する方 ・製品試験の評価を実施する方や製造ライン管理者等 ・校正機関や試験所における技術者または技術管理者 ・不確かさに関してさらに知識を深めたい方 				プログラム	10:00~17:00			
講師	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 田中 秀幸氏				<ol style="list-style-type: none"> 1. 不確かさとは 2. 一歩先を見据えた不確かさ評価方法 3. 不確かさの報告 4. 不確かさ関連文書の構成 5. モンテカル口法と不確かさの伝播則 6. 許容差と不確かさの関係 				
参加費	41,800円（税込） ※会場セミナーは昼食付き								
日程	10月23日（金） WEB、神田								

ISO/IEC 17025:2017 規格解釈

JIS Q 17025:2018
規格和文冊子配付

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>試験所や校正機関に適用される ISO/IEC 17025:2017の規格要求事項の意図や解釈について、具体的な事例を交えながら分かりやすく解説します。試験所・校正機関としての認定取得を目指す方に最適な内容です。また、本規格は内部監査の監査基準にも用いられており、内部監査員を目指す方の最初のステップとしてもおすすめです。さらに、社内校正への適用も可能なため、レベルアップにお役立ていただけます。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ISO/IEC 17025認定を取得済み、または取得予定の試験所および校正機関に所属する方 ISO/IEC 17025規格の概要を理解したい方 社内校正を実施している組織の管理者や責任者の方 				プログラム 10:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 試験所認定制度について ISO/IEC 17025規格の概要 ISO/IEC 17025:2017規格解説 <ol style="list-style-type: none"> 適用範囲 引用規格 用語及び定義 一般要求事項 組織構成に関する要求事項 資源に関する要求事項 プロセスに関する要求事項 マネジメントシステムに関する要求事項 				
講師	<ul style="list-style-type: none"> 村田 浩美 氏 元 独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター (IAJapan) 次長 (計量法校正事業者登録制度 (JCSS) および産業標準化法試験事業者登録制度 (JNLA) の立ち上げ、審査員などに従事) JQA品質管理経験者 等 								
参加費	<p>46,200円 (税込) ※JIS規格付き、※会場セミナーは昼食付き</p> <p>参加費には日本規格協会発行の「JIS Q 17025 : 2018」 (和文冊子) が含まれています。不要な場合は申し込みフォームのコメント欄に【JIS規格不要】とご記入ください。その際は、規格代金を差し引いた参加費にてご案内いたします。</p>								
日程	5月22日 (金) WEB			9月 4日 (金) WEB			12月16日 (水) WEB		
	6月 3日 (水) WEB、神田			10月14日 (水) WEB、神田			2月 3日 (水) WEB		
	6月30日 (火) WEB、大阪			11月11日 (水) WEB					

ISO/IEC 17025:2017 内部監査員養成コース (2日間)

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>ISO/IEC 17025に基づく第三者認定を取得している、または今後認定を取得する予定の試験所・校正機関では、内部監査の実施が要求されています。本セミナーでは、内部監査の際に必要な、品質マネジメントシステムや試験・校正の技術的監査方法を、演習や模擬監査を交えながら解説します。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ISO/IEC 17025内部監査員候補者の方 品質管理、品質保証部門の方 				プログラム 9:30～17:00 (両日とも) <ol style="list-style-type: none"> 【1日目】 <ol style="list-style-type: none"> ISO/IEC 17025規格対応内部監査員養成 (QMS編) 演習：ISO/IEC 17025 <ul style="list-style-type: none"> 内部監査チェックリスト作成 演習問題検討、不適合記述等作成 不確かさのポイント 【2日目】 <ol style="list-style-type: none"> ISO/IEC 17025:2017規格要点解説 模擬監査：ISO/IEC 17025 <ul style="list-style-type: none"> 内部監査チェックリスト作成 模擬監査の実施 監査報告書作成と発表 				
講師	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社品質保証総合研究所 中間 晴夫 氏 (JQA認定ISO 9001主任審査員、セミナー講師) 他JQA認定ISO9001主任審査員、JQA品質管理経験者 								
参加費	<p>88,000円 (税込) ※JIS規格配付希望の場合、規格代金を加算した参加費にてご案内いたします。</p> <p>受講に際しては「JIS Q 17025:2018規格」または「ISO/IEC 17025:2017対訳版」をご用意ください。</p>								
日程	6月 4日 (木) 5日 (金) 神田			9月 9日 (水) 10日 (木) 神田			11月12日 (木) 13日 (金) 神田		
	7月 1日 (水) 2日 (木) 大阪			9月29日 (火) 30日 (水) 名古屋			12月17日 (木) 18日 (金) 神田		
	7月30日 (木) 31日 (金) WEB			10月21日 (水) 22日 (木) WEB			2月 4日 (木) 5日 (金) WEB		

ISO/IEC 17025:2017 内部監査員スキルアップ

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>監査スキルの向上につながる監査手法や着眼点を解説するとともに、技術的な視点からの監査のポイントについても取り上げます。さらに、実践的な模擬監査の実施を通じて、より高度な監査手法を習得していただくことを目指した内容です。</p>								
対象者	<p>内部監査員、管理責任者、品質保証の担当者等で、QMSにより有効となる監査を実施するための技術を身につけたい方</p>					プログラム	10:00～17:00		
講師	<p>・一般財団法人日本品質保証機構 計量計測部門 小林 善男 氏 (JQA認定ISO 9001主任審査員、産業技術総合研究所講師 他) ・JQA技術管理経験者 等</p>					<ol style="list-style-type: none"> 1. 現状の内部監査の振り返り 2. 内部監査の意義、目的の再確認 3. 内部監査の事前準備における留意点 4. 効果的な内部監査の進め方（演習併用） 5. 指摘・提言の方法（演習併用） 6. 受審組織が策定した是正処置を評価する際の留意点 7. 技術的な視点からの監査のポイント 			
参加費	<p>46,200円（税込）※JIS規格配付希望の場合、規格代金を加算した参加費にてご案内いたします。</p>					<p>受講に際しては「JIS Q 17025:2018規格またはISO/IEC 17025:2017対訳版」をご用意ください。</p>			
日程	<p>7月28日（火） 神田 2月12日（金） WEB</p>								

はじめて学ぶ！計量法

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>現在の計量制度は、1992年に改正・施行された計量法に基づいて運用されています。本セミナーでは、計量法における用語の定義や、適正な計量器の使用義務など、計量法の内容について分かりやすく解説します。計量に関する業務に従事している方はもちろん、国家資格である計量士の試験科目「法規」の学習にもお役に立ていただける内容です。</p>								
対象者	<p>・計量法の概要を学びたい方 ・新たに計測分野の業務に従事する方 ・計測分野での業務経験が浅い方 ・計測分野を支援する部署の方</p>					プログラム	13:00～17:00		
講師	<p>Na計測合同会社 代表 中本文男 氏 1973年 通商産業省 工業技術院 計量研究所入所。 1993年 計量法改正に伴いJCSS制度立上げ業務に携わる。 1995年 財団法人日本品質保証機構入構。 元一般財団法人日本品質保証機構 理事。 2016年 Na計測合同会社を設立。</p>					<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の法律・計量法の歴史 2. 計量法の概要（構成・目的・用語の定義） 3. 計量法の規制の要点 4. 計量法の概要 <ul style="list-style-type: none"> 第1章：総則 第2章：計量単位 第3章：適切な計量の実施 第4章：正確な特定計量器等の供給 第5章：検定等 第6章：計量証明の事業 第7章：適正な計量管理 第8章：計量器の校正等 第9章：雑則 第10章：罰則、附則 			
参加費	<p>29,700円（税込）</p>								
日程	<p>6月24日（水） WEB</p>								

はじめての計測器管理

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	計測器管理は製品の品質保証に不可欠です。本セミナーでは、ISO 9001の規格における計測器管理に関する要求事項の確認から始まります。これらの要求事項に適合するために必要な校正や検証、調整や修理など、品質への影響を考慮して管理基準を設定する考え方について解説します。また、計測器の選定から使用、保管、校正結果に不適合が発生した場合の処置など、計測器利用の各工程について、事例を交えながら説明します。適合性評価などの校正証明書の利用についても取り上げ、計測器管理の方法と校正証明書の活用方法を一度に学んでいただける内容です。								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 計測器を使用している方 計測器の管理を担当されている方 これから計測器の管理を担当される方 					プログラム	13:00~16:30		
講師	JQA校正技術者					<ol style="list-style-type: none"> 計測器の管理の基礎 <ul style="list-style-type: none"> 規格要求事項の確認 管理プロセスの確立 計測器の管理 校正証明書の利用方法 <ul style="list-style-type: none"> 計量トレーサビリティ 校正結果 校正条件 校正の不確かさ 規格への適合性 			
参加費	29,700円（税込）								
日程	6月18日（木）WEB 10月 8日（木）WEB 12月10日（木）WEB、神田								

測定

校正

不確かさ・統計

ISO/IEC 17025関連

計測管理

ISO 10012 計測マネジメントシステムの解説

 JIS Q 10012:2011
 規格和文冊子配付

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	ISO 10012は、測定機器の校正・検証および測定プロセスのマネジメントに関する要求事項を定めた規格です。企業活動に取り入れることで、測定リスクの未然防止やマネジメントシステムの効果的な運用と効率の向上、さらに計量のグローバル化要求への対応といった効果が期待できます。								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 計測管理業務に従事されている方 これから計測管理業務に従事される方 					プログラム	13:00~17:00		
講師	JQA品質管理経験者					<ol style="list-style-type: none"> 計測とは 計測器とは 正確な計測が行われない場合のリスク 計測・計測器と品質マネジメントシステムとの関係 ISO 10012:2003解説 <ol style="list-style-type: none"> 適用範囲 引用規格 用語及び定義 一般要求事項 経営者の責任 資源マネジメント 計量確認及び測定プロセスの実現 計測マネジメントシステムの分析及び改善 			
参加費	34,100円（税込） ※JIS Q 10012:2011（和文冊子）付き								
日程	7月14日（火）WEB 12月8日（火）WEB								

計測管理の考え方と進め方 ～生産活動における計測の役割と管理～

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>企業で計測管理を担当され、品質工学を習得された、阿知波計量士事務所 所長 阿知波 正之氏が、生産活動における計測管理の考え方と進め方について解説します。品質工学を含めた広い視点から、「技術開発」「製造」「検査」といった生産活動の各プロセスにおいて、どのような特性を測定し、評価すべきかを事例を交えて紹介します。</p>								
対象者	計測管理担当者、計測技術者の方				プログラム	13:00～17:00			
講師	<p>阿知波計量士事務所 所長 阿知波 正之 氏 1963年 株式会社デンソー入社。計測管理を担当。田口玄一博士、矢野宏博士に師事し、2001年に品質工学を習得。 2002年 計量士事務所設立。 日本規格協会専任講師（品質工学、ISO/IEC 17025）。 職業能力開発促進センター講師（品質工学）。 2016年 一般社団法人 日本計量振興協会副会長（2020年退任）</p>				<ol style="list-style-type: none"> 計測用語 品質管理と品質工学 計測管理とは 開発設計の計測管理 製造の計測管理 検査の計測管理 計測管理の改善活動 <ul style="list-style-type: none"> JIS Z 9090を適用した測定の不確かさ評価 ゲージR&R (現場・現物測定におけるばらつきの評価) まとめ 				
参加費	29,700円（税込）								
日程	10月27日（火） WEB								

計測精度を確実に向上させる！ パラメータ設計の実践セミナー

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>パラメータ設計とは、システムの機能（働き）を最適化するための設計手法です。本セミナーでは、この設計手法を計測に応用し、計測器の使用条件を、計測特性の安定性の指標であるSN比を用いて最適化する方法について解説します。計測器の使用時に生じるさまざまな外乱の影響や環境変動による測定値のばらつきに悩んでいる方が、パラメータ設計による各計測器に最適な計測条件を設計し、短時間で効率的な計測活動の改善と測定のばらつきや不確かさの低減ができるようサポートします。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 計量／計測管理を行う立場の部署の方 計量／計測管理の経済性を考えて生産性を向上させたい部署の方 計測器管理、測定結果の信頼性、測定誤差の評価を行う部署の方 計量／計測する部署を教育・指導する立場の部署の方 				プログラム	13:00～17:00			
講師	<p>Na計測合同会社 代表 中本文男 氏 1973年 通商産業省 工業技術院 計量研究所入所。 1993年 計量法改正に伴いJCSS制度立上げ業務に携わる。 1995年 財団法人日本品質保証機構入構。 元一般財団法人日本品質保証機構 理事。 2016年 Na計測合同会社を設立。</p>				<ol style="list-style-type: none"> 計量計測について 計測について <ul style="list-style-type: none"> 定義 プロセス 測定システム 計測設計について <ul style="list-style-type: none"> 概要 目的 損失関数 SN比 パラメータ設計 許容差設計 				
参加費	29,700円（税込）								
日程	9月15日（火） WEB								

計測管理プロセスの改善

開催地	WEB	神田須田町	八王子	名古屋	大阪	レベル	初級	中級	上級
概要	<p>マネジメントシステム規格として最も普及しているISO 9001における計測器管理の要求事項と、これらの要求を踏まえた計量管理、計測管理プロセスの構築事例および法定計量の基礎を解説します。また、計測管理プロセスの改善に役立つ校正結果の評価方法や、経済面を考慮した計量管理方法についても説明します。計測管理を統括する管理者、責任者の方におすすめのセミナーです。</p>								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 計測管理を統括されている方（管理者、責任者） 計測管理に携わっている方 				プログラム 10:00～16:30 <ol style="list-style-type: none"> 計測管理プロセスの改善（管理責任者編） <ul style="list-style-type: none"> ISO 9001規格における計測器管理の解説および規格要求事項に対応した計測器の管理 計測管理と経営戦略について 計測管理プロセスの基礎知識と構築事例 <ul style="list-style-type: none"> 計測管理プロセスの概要 校正、計量トレーサビリティとは 試験所認定制度、不確かさについて 測定のために応じた計測器の選び方と適切な管理基準の決め方 計測管理プロセスの改善 <ul style="list-style-type: none"> プロセスとプロセスアプローチ 計測管理プロセスの再構築 効果的な計測管理プロセスとその取り組み 				
講師	<ul style="list-style-type: none"> 経営コンサルタント 高橋 健史 氏 （元大阪経済大学 経営学部 非常勤講師、元りそな総合研究所株式会社 プリンシパル、管理者育成支援、ISO認証取得・運用・改善支援、ほか） JQA品質管理経験者 								
参加費	47,300円（税込） ※会場セミナーは昼食付き								
日程	7月17日（金） 神田 11月20日（金） WEB								

ISOセミナー・eラーニング

■ 知見豊かな人材を育成

当機構では、計測技術に関するセミナーに加え、マネジメントシステムに関するセミナー・eラーニングも実施しております。マネジメントシステムの構築・運用には、規格に関する知識をはじめ、多くの知見やノウハウが必要です。お客さまの効果的な活動へ向け、マネジメントシステムにかかわる人材の育成を幅広くお手伝いします。



多くの受講者数

当機構のISOセミナー・eラーニングは、幅広い受講者層に愛され、これまで約7万人の方に受講いただいています。

知識・ノウハウ

年間1万件を超える審査経験で培った知識とノウハウを活かし、実務に役立つ幅広いコースを展開しています。

おすすめコース一例

(e) : eラーニング

対象	新入社員・異動者		事務局・管理者／内部監査員	
種別	基礎知識		規格解釈・運用	
品質	ISO 9001	はじめてのISO 9001(2015年版)(e)	QMS(ISO 9001)内部監査員 養成コース	
	品質管理	はじめての品質管理(e)	IATF審査員が教えるコアツール基礎コース ～品質管理手法の改善へのヒント～	

ISOセミナー・
eラーニングに関する
お問い合わせ先

一般財団法人日本品質保証機構(JQA)
マネジメントシステム部門 企画センター ソリューションサービス部
TEL: 03-4560-5678 E-mail: ms-human-dev@jqa.jp

その他
コースは
こちら!

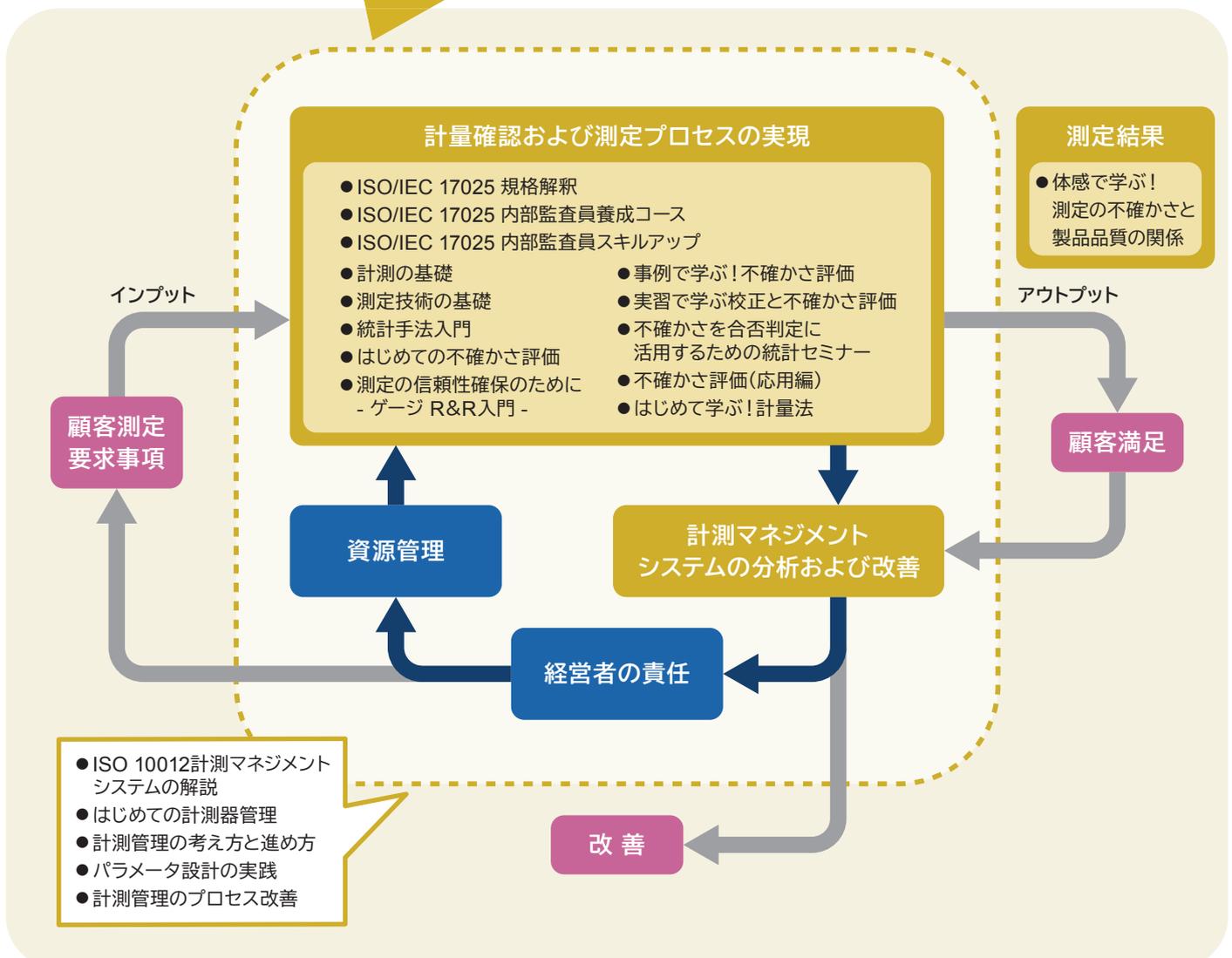


企業活動とJQA計測セミナーの関連図

■ ISO 9001:2015に基づく品質マネジメントシステム(QMS)



■ 計測マネジメントシステム



※ ISO 9001の要求事項である「7.1.5 監視及び測定のための資源」は計測マネジメントシステムを活用することで効果的に運用することができます。

2026年度 年間スケジュール

○ : WEB ■ : 神田須田町会場 ◆ : 八王子会場 ★ : 名古屋会場 ▲ : 大阪会場
 * 2日間の開催の場合は初日を記載

テーマ	レベル	セミナー名	日数	参加費 (税込)	開催日* 2026年			開催日* 2027年
測定・校正	初級	計測の基礎	半日	¥29,700	5/20(水) ○ 9/2(水) ○	6/17(水) ○ 10/7(水) ○	7/8(水) ○■ 11/5(木) ○■	
	初級	測定技術の基礎 (現場長さ測定器編)	半日	¥31,900	5/27(水) ○◆ 10/6(火) ★	6/23(火) ▲ 12/2(水) ○	8/5(水) ○	2/16(火) ○
	初級	測定技術の基礎 (はかり編)	半日	¥31,900	6/16(火) ○◆	10/28(水) ○		1/20(水) ○
	初級	測定技術の基礎 (電気計測器編)	半日	¥31,900	6/4(木) ◆ 10/2(金) ○	6/24(水) ▲ 12/3(木) ★	7/15(水) ○	2/17(水) ○
	初級	測定技術の基礎 (圧力計編)	半日	¥31,900	6/2(火) ○◆			1/15(金) ○
	初級	測定技術の基礎 (温度・湿度計編)	半日	¥31,900	6/12(金) ○	9/17(木) ○		2/10(水) ○
	初級	測定技術の基礎 (力・トルク計測器編)	半日	¥31,900	7/24(金) ○◆			
	中級	実習で学ぶ校正と 不確かさ評価 (現場長さ測定器編)	1日	¥44,000	7/10(金) ○	9/4(金) ◆	10/20(火) ▲	1/22(金) ■
	中級	実習で学ぶ校正と 不確かさ評価 (はかり編)	1日	¥44,000	6/10(水) ◆	9/8(火) ▲		3/2(火) ◆
	中級	実習で学ぶ校正と 不確かさ評価 (電気計測器編)	1日	¥44,000	5/29(金) ■	11/6(金) ■	11/18(水) ▲	1/14(木) ○
中級	実習で学ぶ校正と 不確かさ評価 (温度計編)	1日	¥44,000	11/25(水) ◆				
不確かさ・統計	初級	統計手法入門	半日	¥29,700	7/21(火) ○	11/26(木) ○		
	初級	はじめての不確かさ 評価	1日	¥41,800	5/21(木) ○ 11/17(火) ▲	7/9(木) ○■	9/3(木) ○	1/27(水) ★
	初級	測定の信頼性確保 のために -ゲージ R&R 入門-	半日	¥29,700	12/9(水) ○			
	中級	実習で学ぶ校正と 不確かさ評価 (現場長さ測定器編)	1日	¥44,000	7/10(金) ○	9/4(金) ◆	10/20(火) ▲	1/22(金) ■
	中級	実習で学ぶ校正と 不確かさ評価 (はかり編)	1日	¥44,000	6/10(水) ◆	9/8(火) ▲		3/2(火) ◆

2026年度 年間スケジュール

○ : WEB ■ : 神田須田町会場 ◆ : 八王子会場 ★ : 名古屋会場 ▲ : 大阪会場
 * 2日間の開催の場合は初日を記載

テーマ	レベル	セミナー名	日数	参加費 (税込)	開催日* 2026年			開催日* 2027年
不確かさ・統計	中級	実習で学ぶ校正と不確かさ評価 (電気計測器編)	1日	¥44,000	5/29(金) ■	11/6(金) ■	11/18(水) ▲	1/14(木) ○
	中級	実習で学ぶ校正と不確かさ評価 (温度計編)	1日	¥44,000	11/25(水) ◆			
	中級	事例で学ぶ！不確かさ評価	半日	¥29,700	9/25(金) ○	12/18(金) ○		
	中級	体感で学ぶ！測定の不確かさと製品品質の関係	1日	¥47,300	11/19(木) ○■			
	上級	不確かさを合否判定に活用するための統計セミナー	半日	¥29,700				1/29(金) ○■
	上級	不確かさ評価 (応用編)	1日	¥41,800	10/23(金) ○■			
ISO/IEC17025規格関連	初級	ISO/IEC 17025:2017規格解釈	1日	¥46,200	5/22(金) ○ 9/4(金) ○ 12/16(水) ○	6/3(水) ○■ 10/14(水) ○■	6/30(火) ○▲ 11/11(水) ○	2/3(水) ○
	中級	ISO/IEC 17025:2017内部監査員養成コース	2日	¥88,000	6/4(木) ■ 9/9(水) ■ 11/12(木) ■	7/1(水) ▲ 9/29(火) ★ 12/17(木) ■	7/30(木) ○ 10/21(水) ○	2/4(木) ○
	上級	ISO/IEC 17025:2017内部監査員スキルアップ	1日	¥46,200	7/28(火) ■			2/12(金) ○
計測管理	初級	はじめて学ぶ！計量法	半日	¥29,700	6/24(水) ○			
	初級	はじめての計測器管理	半日	¥29,700	6/18(木) ○	10/8(木) ○	12/10(木) ○■	
	初級	ISO 10012計測マネジメントシステムの解説	半日	¥34,100	7/14(火) ○	12/8(火) ○		
	中級	計測管理の考え方と進め方	半日	¥29,700	10/27(火) ○			
	中級	体感で学ぶ！測定の不確かさと製品品質の関係	1日	¥47,300	11/19(木) ○■			
	上級	計測精度を確実に向上させる！パラメータ設計の実践セミナー	半日	¥29,700	9/15(火) ○			
上級	計測管理プロセスの改善	1日	¥47,300	7/17(金) ■	11/20(金) ○			

eラーニング コース概要・申し込み

■ はじめての不確かさ評価

本コースは、計測器による測定の不確かさ評価を基礎から理解し、実践できるようになることを目的としており、基礎から学びたい方におすすめの内容です。

測定の不確かさの意味や重要性、評価の基本的な考え方を丁寧に解説し、測定の不確かさをどのように表現するかについて具体例を交えて分かりやすくご紹介します。



お申し込みは
こちらから

■ eラーニングのメリット



自分のペースで
学習可能



動画で何度でも
復習可能



いつでも・どこでも
受講可能



移動不要で
コストを抑えられる



スキマ時間で
効率よく学べる



受講者の
進捗管理可能

概要

対象者 ●計測器(計量器)を使用されている方
●基礎から不確かさを学びたい方

受講費 19,800円 / 1ID

受講時間 200分、8講義

受講期間 6カ月

修了証 あり



より多くの方にご受講いただけるよう、
通常よりお得な価格に設定いたしました。

プログラム

- 1 測定の不確かさとは
- 2 不確かさの要因について
- 3 タイプA評価の不確かさ(平均値とばらつき)
- 4 タイプB評価の不確かさ(一般的な不確かさ)
- 5 不確かさの計算方法
- 6 標準不確かさと不確かさの合成
- 7 結果の表し方
- 8 事例紹介

内容に関する
お問い合わせ

一般財団法人 日本品質保証機構 計量計測部門 ソリューションサービス課
TEL: 042-641-6979 E-mail: keisoku-seminar@jqa.jp

■ お申し込みから修了証発行まで



申し込みに関する
お問い合わせ

一般財団法人 日本品質保証機構 マネジメントシステム部門 企画センター ソリューションサービス部
E-mail: ms-human-dev@jqa.jp

カスタマイズセミナーのご案内(WEB対応可能)

カスタマイズセミナーとは、貴社ご指定の場所・日程で、通常セミナーと同じ内容をご提供するサービスです。貴社のご要望に基づいて、内容をアレンジすることも可能です。

講師が貴社ご指定の場所に何う形式はもちろんのこと、ZoomやTeamsなどを用いたオンライン形式での対応も承っております。

詳細・お見積もり依頼等についてお気軽にお問い合わせください。

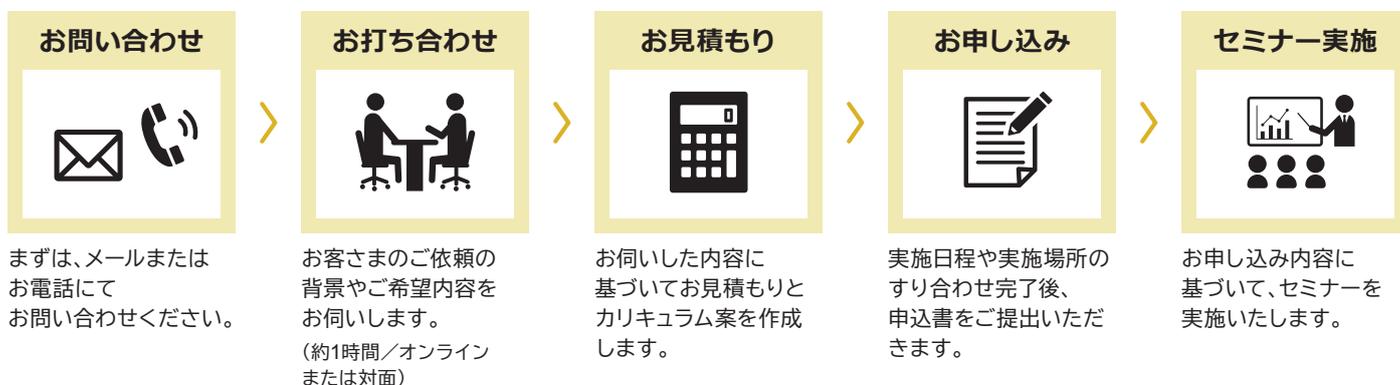
■ カスタマイズセミナーのメリット

貴社のご要望に沿って
カスタマイズが可能

貴社ご希望の場所・時期で
実施が可能

受講人数次第では
通常セミナーへ参加するよりも
コストの削減が可能

■ カスタマイズセミナー実施までの流れ



■ 事例紹介

A社

課題

計測器管理に関するポイントや用語への理解が不十分な社員が一定数存在していた。

実施内容

「トレーサビリティ」「校正」「不確かさ」「ISO/IEC 17025」など、計測器管理の根幹となるキーワードや考え方を重点的に解説。2時間(講義90分+質疑30分)のコンパクトな構成とし、より多くの社員が参加できるように同一内容を4回開催して受講機会を拡大した。

成果

計測器管理の重要ポイントと関連用語への理解が深まり、担当者が抱えていた不安が解消。

B社

課題

社内での教育体制が十分に整っておらず、管理者・担当者ごとの知識レベルにばらつきがあった。計測器管理に必要な知識が身につけていない状況。

実施内容

既存セミナーを同社向けにカスタマイズして実施。演習や実習を交えながら、不確かさの基礎から電気計測器の管理・校正までを体系的に学べる内容とした。

成果

受講者から高い評価をいただき、当初1日だった内容を翌年度から1.5日に拡充。同社の社員研修のカリキュラムとして組み込まれ、毎年度継続して実施。

お問い合わせ先

一般財団法人日本品質保証機構 JQA計測セミナー事務局

〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-4-4 E-mail: keisoku-seminar@jqa.jp

会場のご案内

東京（神田須田町）会場



〒101-8555 東京都千代田区神田須田町1-25
JR神田万世橋ビル17階

アクセス

- JR「秋葉原」駅（電気街口）より徒歩4分
- JR「御茶ノ水」駅（聖橋口）より徒歩6分
- 東京メトロ丸ノ内線「淡路町」駅（A3出入口）より徒歩3分
- 東京メトロ銀座線「神田」駅（6出入口）より徒歩2分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅（B2出入口）より徒歩6分
- 都営地下鉄新宿線「小川町」駅（A3出入口）より徒歩3分

東京（八王子）会場



〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-4-4
JQA多摩テクノパーク

アクセス 京王相模原線「南大沢」駅より徒歩13分
駐車場利用可

名古屋会場



〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-2-25
名古屋ビルディング桜館8F※

アクセス ・JR、名鉄、近鉄、地下鉄東山線・桜通線
「名古屋」駅（桜通口）より徒歩6分
・地下鉄桜通線「国際センター」駅4番出口より
徒歩2分
・地下街ユニモール13番出口前

大阪会場



〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-9
新大阪フロントビル6階

アクセス JR「新大阪」駅西口より徒歩4分
地下鉄御堂筋線「新大阪」駅4番出口より徒歩4分

ご案内およびお願い

- ・ WEBセミナーでは「Zoom」を使用いたします。
- ・ プログラムは多少変更となる場合がございます。
- ・ 都合により会場が変更となる場合がございます。受講票をご確認ください。
- ・ 最新のセミナースケジュール・お申し込みはWEBサイトをご確認ください。

お問い合わせ先

一般財団法人日本品質保証機構 JQA計測セミナー事務局

〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-4-4

TEL : 042-641-6979 E-mail : keisoku-seminar@jqa.jp